

（端裏書）

「大屋九右衛門殿 吉田平馬」

尚々道中人数

弥四人^{ニ而}候哉

其通り手形^ニも書入候、且又

長手拭二筋道中

用事^{ニ茂}可達哉と

贈申候、以上

御関所通手形為持

遣候、御請取可有候

一 昨日被差越候御肴代

差出手形取せ遣候

一 内々頼入候匏別紙書付

之通必頼入存事候

代銀之儀昨日被申候

通、追^而從因州遣シ

可申候、尤加賀四郎兵衛へ

頼可遣候間、左様可被

相心得候

一 此度手前取込、緩々

不申承残念候、度々

御心入過分之至候、何角

道中無恙可被差越候

以上

卯月十三日